

# 北村山公立病院 医師の労働時間短縮計画

## 計画期間

令和4年度から令和5年度（令和4年4月から令和6年3月末）

医師（15名）

## 1. 労働時間と組織管理

### （1）労働時間数

年間の時間外・休日労働時間数	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
年間の時間外・休日労働時間数の平均	441時間72分	480時間	480時間
年間の時間外・休日労働時間数の最長	874時間	960時間	960時間
960時間超～1,860時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%
1,860時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

### （2）労務管理・健康管理

#### ○労働時間管理方法

前年度の実績	● 出勤簿及び時間外勤務命令簿による申告
当年度の実績	● 出退勤管理システムの導入
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

#### ○宿日直許可の有無を踏まえた時間管理

前年度の実績	● すでに宿日直許可を得ている
当年度の実績	● 宿日直許可に基づいた宿日直回数の順守 （宿直：週1回、日直：月1回を限度とする）
計画期間中の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む

○医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等

前年度の実績	特になし
当年度の実績	● 労働時間と自己研鑽のルールを定める
計画期間中の実績	上記事項に継続して取り組む

○36 協定の締結

前年度の実績	● 労働者の過半数の同意を得た代表者と協議・締結した ● 届け出た 36 協定を院内掲示板に掲示した
当年度の実績	上記事項に継続して取り組む
計画期間中の実績	同上

○衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制

前年度の実績	● 衛生委員会を年 1 2 回開催した ● 特定従事者の健康診断を年 2 回実施した ● ストレスチェックを実施した
当年度の実績	上記事項に継続して取り組む
計画期間中の実績	同上

○追加的健康確保措置の実施

当年度の実績	● 連続勤務時間制限、勤務間インターバル確保及び代償休息を確保するため、当直医師は翌日の外来終了後、職務専念義務の免除により休暇（代償休息）を取得できる制度を周知する
計画期間中の実績	上記事項に継続して取り組む

### (3) 意識改革・啓発

#### ○管理者マネジメント研修

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国等が実施する病院長向けの研修会に院長が参加する</li><li>● 診療科長等向けに管理者のマネジメント研修を年1回開催し受講を促す</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

#### ○働き方改革に関する医師の意識改革

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 医師の自己研鑽の考え方を明確にする</li><li>● 勤務医の時間外短縮計画の周知</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

#### ○患者さんやその家族等への医師の働き方改革に関する説明

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 医師の働き方改革を推進していること、それに対する理解を求める説明書を掲示する</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

### (4) 策定プロセス

各職種（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・リハビリ・事務職）の各代表11名が参画する「衛生委員会勤務医師等負担軽減部会」を開催し、医療従事者（医師・看護師）の負担軽減及び処遇改善に資する計画を作成した。

年度ごと計画目標の評価を行い、意見交換を実施するとともに、次年度の改善目標を設定し、当該計画を職場内の掲示板に掲示する。

## 2. 労働時間短縮に向けた取組

衛生委員会勤務医師等負担軽減部会での計画に基づき、下記のとおり取り組む。

### (1) タスク・シフト／シェア

※別紙 「令和4年度医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画」 参照

### (2) 医師の業務の見直し

#### ○外来業務の見直し

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 非常勤医師の積極的な受け入れ</li><li>● 地域その他医療機関との連携強化を図る（紹介率、逆紹介率の向上）</li><li>● 一人診療科の負担軽減のため、併診科による処方等の協力</li><li>● 平日日中の救急外来対応については、主に当該診療科が対応するが、対応困難な場合は、救急対应当番「オール北公」で割り当ての医師により一次診療を行う</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

#### ○宿日直体制や分担の見直し

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 全診療科フリーで宿日直体制を組み、宿日直が当たらなかった診療科はオンコール宅直体制とする</li><li>● 宿日直の負担を軽減するため、非常勤の宿日直医師を受け入れ、宿日直の回数を減らす</li><li>● 宿日直許可の体制の維持のため、非常勤医師の積極的な受け入れ（宿日直医師、宅直医師の招へい）</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

### ○オンコール体制の見直し

計画策定時点での取組実績	● 看取りについて当直医と連携し、主治医の夜間呼び出しを軽減する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

### (3) その他の勤務環境改善

#### ○出産・子育て・介護など、仕事と家庭の両立の支援

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 院内保育所の積極的な活用</li><li>● 夜間保育の活用</li><li>● 育児休業、育児休暇、介護休暇等の制度の周知と積極的な取得</li><li>● 半日や時間単位での年次有給休暇の取得</li></ul>
計画期間中の取組目標	上記事項の維持に取り組む

### (4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	● 副業・兼業先との労働時間と勤務シフトの調整
計画期間中の取組目標	● 副業・兼業先へ労働時間が超過することの無いよう協力要請を行い、勤務シフトの調整を行う